



ECEQの仕組みを活用した 園内研修の試み



学校法人 庄内神社学園

幼保連携型認定こども園

庄内こどもの杜幼稚園

副園長 北島孝通



畿央大学

現代教育学科

准教授 永渕泰一郎

庄内こどもの杜幼稚園 概要

<地域>

- 大阪府豊中市の南部に位置する(下町)
- 神社の学園
- 下町の情緒が残っているが、地域に自然は少ない。

<保育目標>

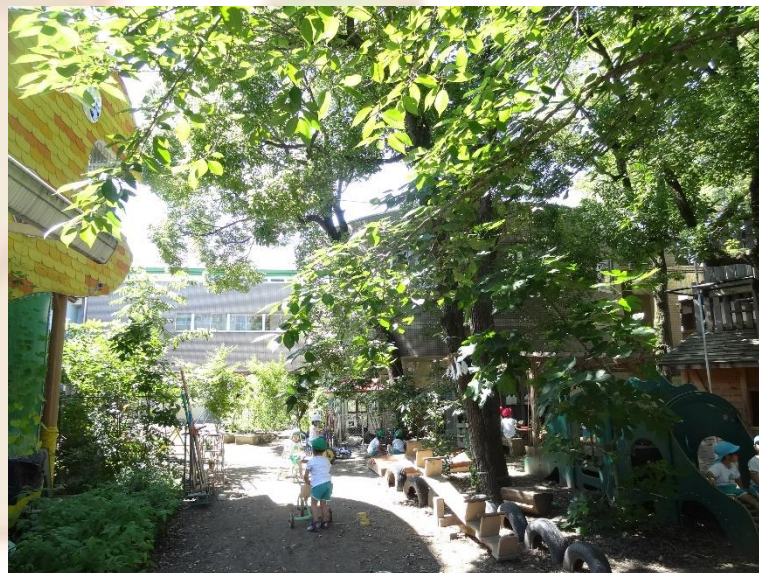
- 神をうやまい、親や自分を取り囲むまわりの人々を大切にする子ども
- 基本的生活習慣、態度を身につけた子ども
- 心身ともに健康的で、ねばりのある子ども
- きまりを守り、みんなと仲良くできる子ども
- よく考えて工夫し、自分から進んで行動できる子ども
- 情操豊かな心を持った子ども

<在園児数>

令和元年7月現在 計180名

クラス	1号籍	2・3号籍
0歳児 (6か月～)		6
1歳児		10
2歳児		12
3歳児	34	13
4歳児	30	19
5歳児	41	15
合計	105	75

※3歳児～5歳児は、1・2号籍混合クラス



こんな感じの園です



今回の発表の趣旨



- 外部講師と連携しながら、「公開保育を活用した幼児教育の質向上システム」
(ECEQ:通称イーセック)の仕組みを活用した園内研修を計画実施。
- その成果がどうであったかを発表しながら、今後の園内研修の在り方を検討してみたい。

園側の発表 35m

講師側の発表 15m

質問紙の回収 5m

質疑 35m

【質問シートの記入のお願い】

園側・講師側の発表を聞きながらご記入ください。
発表終了後、回収させていただき、答えさせていただきます。



(園側の視点) ECEQの仕組みを活用した 園内研修の試み



学校法人 庄内神社学園

幼保連携型認定こども園

庄内こどもの杜幼稚園

副園長 北島孝通

発表者自身の 公開保育コーディネーター実績

- 平成27年度取得
- メイン2回(今年度3回目予定)
- サブ10回以上
- 豊中市の半日公開保育のコーディネーター
年3回×9年目

※当園はECEQ®公開保育
を平成27年度に実施



自園職員とE C E Q[®]



- 当園はE C E Q[®]型公開保育を2回（H25、H27）行ったことがある。
- E C E Q[®]型公開保育に参加した職員（主任・副主任・他職員）がいた。
⇒園内のE C E Q公開保育の認知度
知っている（4：6）知らない

なぜ「ECEQ[®]の仕組みを活用した園内研修」をしようとしたか？



○担任0～5歳児の担任が5年目まで
（8年目以上は、クラス担任を持っていないフリー・役職者）

⇒初めて担当する学年で、保育の進め方に悩む。「これでいいの…？」

○中堅の職員の退職により、近くで実践してくれるモデルが少なくなる。

「どうやるの？」

なぜ「ECEQ®の仕組みを活用した園内研修」をしようとしたか？



(自分自身)

- ECEQ®で、多くの他園のお手伝い。
(他園のクラスを見て、他園の職員と話し合い)
【実施園の多くの評価】

「やって良かった公開保育」

~~「やらなければよかった後悔保育」~~

⇒自園を見ている？スミマセン自園の職員…

⇒せっかくなら、コーディネートで経験した
ECEQの良さを、自園に！

「E C E Q[®]の仕組みを活用した園内研修」に期待するねらい



【公開クラス】

- ・聞きたいことが、現場を見て答えてもらえる

【見る側】

- ・他クラスの良さと課題を知る
- ・コメント力がつく
- ・自身の振り返りになる

若い担任集団が、 実践を見合える学びを



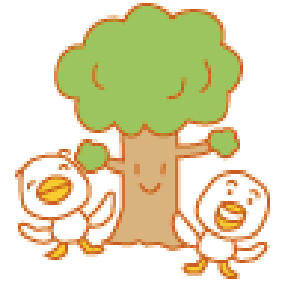
○実は、隣のクラスをの保育はじっくり
見ることはできない。

※棚一つ置くだけで
隣は分からない。



○公開園内研修を通して、互いの保育を
見る⇒見てわかる。

同僚性の向上に つながる対話へ



○新しいメンバーが多いので、新たな人間
関係構築⇒他学年の交流

分かり合える職場環境作りの一環

「良さ・悩み」

○認め合う対話「ここがいいね」

課題を出せる対話「ここが分からない」

園内研修を受ける側が、 主体性を持てるように



○講師が見て、アドバイスをもらう
形式からの変化

○公開側が見てもらう点を出す主体性
を持つ

(見てもらう部分を公開側が出す。)

導入の流れ

学年代表者会で私から提案



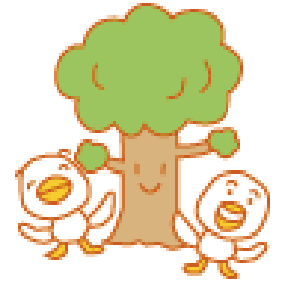
【意見】

- 普段の姿を見てもらいたい（公開保育用の保育にならないように）。
- 周りにもクラスを見てもらえてよい。
- 他クラスを見ることで発見がある。
- 色々な歴の先生がみれたらいい。

【疑問】

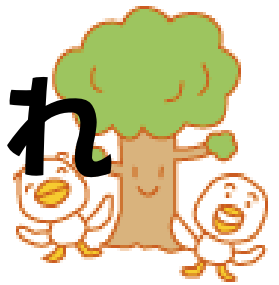
- 日案が必要？⇒いらない
- 正規クラスだけ実施？
⇒未就園児クラス・預かりクラスもできたらいい。
- 分科会の持ち方は？⇒定例会議時間を利用して実施

実際の様子 ECEQを参考に



- STEP 1 ⇒ ~~園長・リーダー~~の説明 = なし
- STEP 2 ⇒ 公開園内研の事前説明
事前研修（自分達の振り返り）
- STEP 3 ⇒ 問いづくり
- STEP 4 ⇒ 公開保育＆カンファレンス
- STEP 5 ⇒ ~~事後研修~~ = なし

STEP 2 事前説明の流れ



- 全体で 1 時間
- 公開園内研の事前説明 【5 分】
- 事前研修（自分達の振り返り）
 - 付箋記入 【1 5 分】
 - 付箋共有とカテゴリー分け 【1 5 分】
- 問いづくりの説明 【1 0 分】
- 質疑と問い仮作成 【1 5 分】

STEP 2



園内公開保育
～ECEQの仕組みを活用して～

期待される効果

①事前打ち合わせ
自分達の良さや
課題を見つけ、
共有する

②事前準備
「問い」を立てる

③公開保育当日
自己開示と
フィードバック

④事後研修
フィードバックの
検証
これからのこと

主役は
公開クラス
守られる

公開クラス
聞きたいことが、
現場を見て答え
てもらえる

今保育をしている
ワタシの良さ
ワタシの課題

記入5つまで

良さ
出来ている

課題・困難

公開クラスの
問いが中心

見る側
他クラスを見る
悩みを知る
コメント力がつく

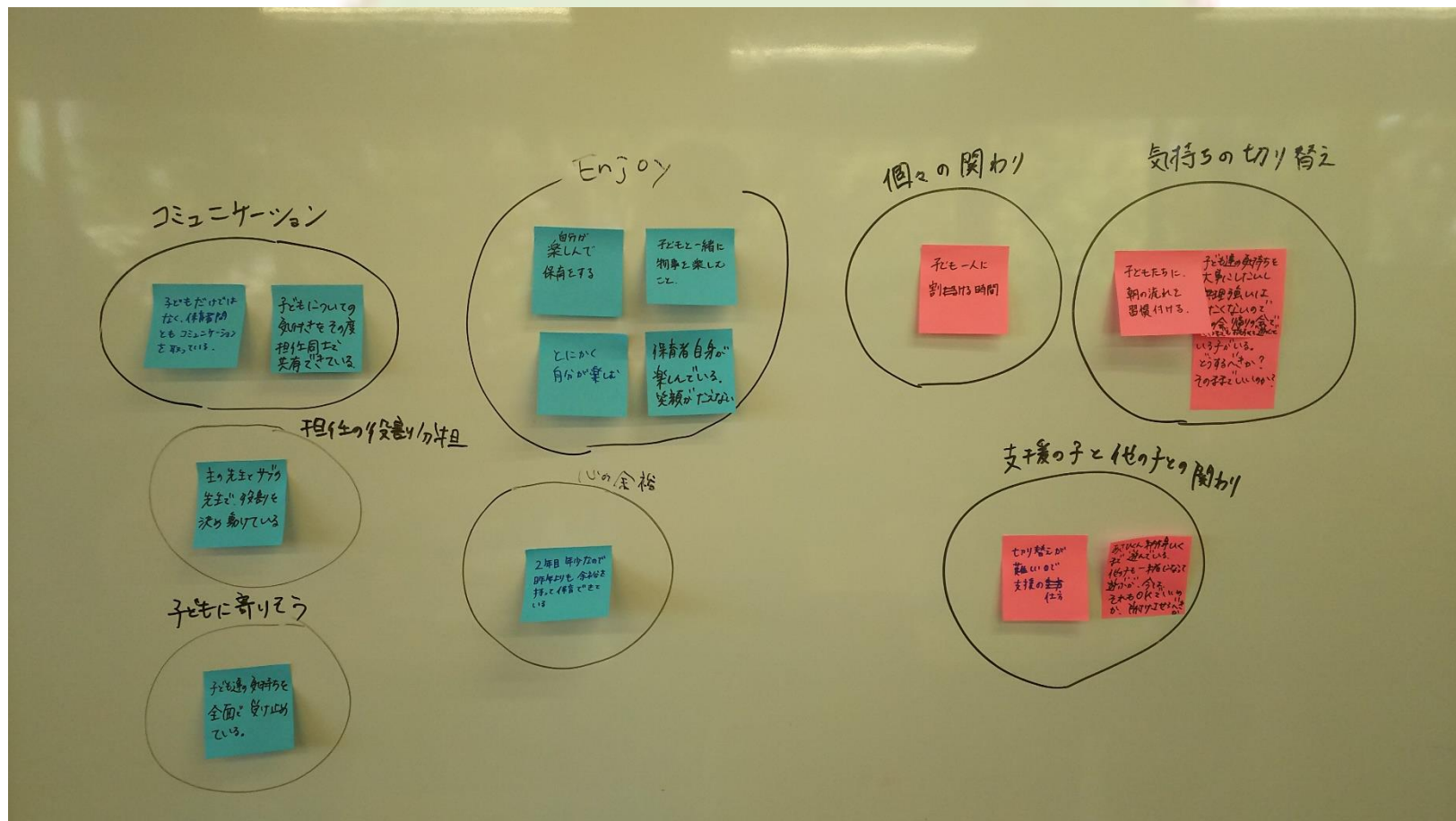
STEP 2



STEP 2



STEP 2



STEP 3

問いづくり 説明用紙

公開保育の当日質問について

【当日の問いとは】

・当日の公開保育で、「本当に自分（達）が見てほしい点」について、アドバイスをもらいたい点について聞けるような仕掛けづくりです。これを行うことで、公開保育の主導権を公開側が持つことが出来ます。

【当日の問いの構造】

（今の子どもの姿・現状・育ち）	子どもは〇〇という姿を見せています。
（ねらい・先生の望む姿・育てたいもの）	〇〇という育ちを願って、〇〇という姿を目指し
（今までの具体的な試み・援助・環境構成等）	今まで〇〇をやってみました。
（悩み・疑問）	（ただ、〇〇な時に〇〇という状況になります。）
（問い＜問い言葉 下記参照＞）	〇〇について気付いたことを教えてください」

《フリー型・広範囲型》良い点・悪い点、フリー意見など、すべて出る広い問いかけ
「〇〇について気付いたことを教えてください」

《二極化型》良い点・悪い点、両方聞ける。
「〇〇について良い点・改善点を教えてください。」

《改善型》対案や新アイデア、具体的な改善策を開ける。
「〇〇についてもっとこうした方が良いと思うことは何ですか？」

《評価型》各園保育や、個々の保育観から照らし合わせた客観的な評価をもらえる。
「子どもの様子はどう見えましたか？」

《ある視点型》まったく違う視点・やり方のアイデアがもらえる
「あなただったらこのねらいでどんなことをしますか？」

《参照型》他クラスの内容や考えを参考にできる。
「あなたのクラス（過去担当したクラス）ではどのようにしていますか・考えていますか？」

《発見型》自分の気付かなかったねらいに近い子どもの姿を、一緒に探して見てもらえる。
「どのような場面でそのような姿が見られましたか？」

【当日最後の問いに入れた方がいい問い「その他」】⇒無自覚の良さや課題を知る
「その他、あなたが見て気づいた良い点・改善点を教えてください」

【当日の問いに不向きなもの・当日参加者が分かりにくいもの】

（参観などの場で起こりにくいもの）＝喧嘩、いじわる、乱暴
（一個人の価値観で変更できないこと）＝園の方針、行事、習慣、建物
（個々のスキルに寄与するもの）＝本人の苦手、ピアノ
（特定の子どもに関わり）＝特別支援的な子どもの対応
（当日見られない）＝問いの内容を実践していない



STEP 3

実際の問い

あやめ組（4歳児）

《期のねらい》

- ・好きな遊びを通じて、自分の考えや思いを他児に伝える。
- ・好きな遊びを通じて、他児の考えや思いを知る。（子ども同士で話を聞く始まり。）
- ・保育者が中心となり、クラスみんなで活動する楽しさを知る。

《月のねらい》

- ・他児と関わる中で、自分の思いを伝えたり、保育者と一緒に相手の気持ちを考える。
- ・保育者が中心となり、集団遊びを通して、みんなで遊ぶ楽しさを知る。

《現在のクラスの様子》

4月に比べると、現在のクラスに徐々に慣れてきて、自分の思いを伝える姿が多く見られるようになってきた。また、話し合いをする際に、保育者を仲介するのではなく、自分たちで解決しようとする姿も見られ始めている。

登園し準備が出来た子どもから好きな遊びで遊ぶようにしているが、コーナーで遊ぶ子どももいる一方、友だちとふざけ合い、保育室や廊下を走り回る姿の子どもも増えてきた。

走ると危ないので走ってはいけないことを伝えようと、その時だけやめており、しばらくするとまた走り回る姿が見られる。

走ってはいけないことを伝えるだけではなく、落ち着いて遊べるように、粘土やお絵描き、色水などのコーナーを作っているが、遊ぶ子どもは特定の子どものみで、走り回る子どもは、あまり参加する姿が見られない。

今日することの話や、行事に向けての話し合いの場面では、友だちと話したり、玩具で遊び始めたり、聞いていないことが多い。4月当初より話を聞いている子どもが徐々に増え、「話聞かないとあかんで」や「静かにして」と言う姿も見られる。そろそろ活動に対して、全部とは言わず、最初・大切なポイントを聞いて欲しいと思っている。

それに向けて、話し合いの前に手あそびや知っている歌を歌いながら全体が次の活動に移れるような準備をしているが、集中が切れると座り方がだらけたり、友だちと遊び始めたりする姿が多い。

《問い》

- ① 自由遊びの時間に保育室を走り回ることが増えてきた。落ち着いて遊べるようにコーナーを作りたいのですが、子どもが惹かれるようなコーナーをどのように作ったらいいのか、どのようなコーナーを作ったらいいのか分からず、困っているの、アドバイスを頂きたいです。
- ② お参りから帰ってきてから活動へ、活動から給食への切り替えの際に、落ち着かずに話を聞いていないことがあります。子どもが落ち着いて話を聞くことができるようにするには、どのような導入をしたり、どのような話し方をしたら良いか、アドバイスを頂きたいです。
- ③ その他、みなさんが見て気づいた良い点・改善点を教えてください。

《タイムスケジュール》

- 10:00 お参り
- 10:20 朝の会
- 10:40 泥遊び
- 11:00 着替え
- 11:30 給食準備

STEP 4

参加者に 配布する 用紙

庄内こどもの杜幼稚園 園内公開保育の見方

- ・本日の公開保育 主役は実施クラス
- ・参加者は見るだけで学び
- ・公開クラスに対し付箋で、公開のお礼
⇒クラスの問いに答える

【公開保育の見方】

- ・今日は長い一年のたった数十分～数時間程度
- ・保育を取らない
- ・部屋に入る人数の配慮⇒(窓から、廊下から見る)

・付箋の記入法

- ・記入は太いペン
- ・一つの付箋に一つのコメント
- ・問いに対する番号を書いておく「①」「②」など

「良いと思う点・頑張っている点」

①先生の
関わりが
丁寧

②そのまま
でいいと
思う

「質問のアドバイス・改善案・その他の意見」

①もっと
積極的に
関われば？

②〇〇する
と集中する
かも

×いつやっていますか？ ×〇〇すると、困りませんか？ ⇒参加者の問い
(参加者の問いは、公開園内研修以外の時に聞く)

○私は〇〇しています ○何故そうしたいのですか？ ⇒公開したものが欲しい回答

【午後のカンファレンスの進め方】

- ① 参加者:良かった点・今日見てないけどいいと思う点(1分程度)
- ② 公開クラス:今日の感想
- ③ 公開クラス:問い

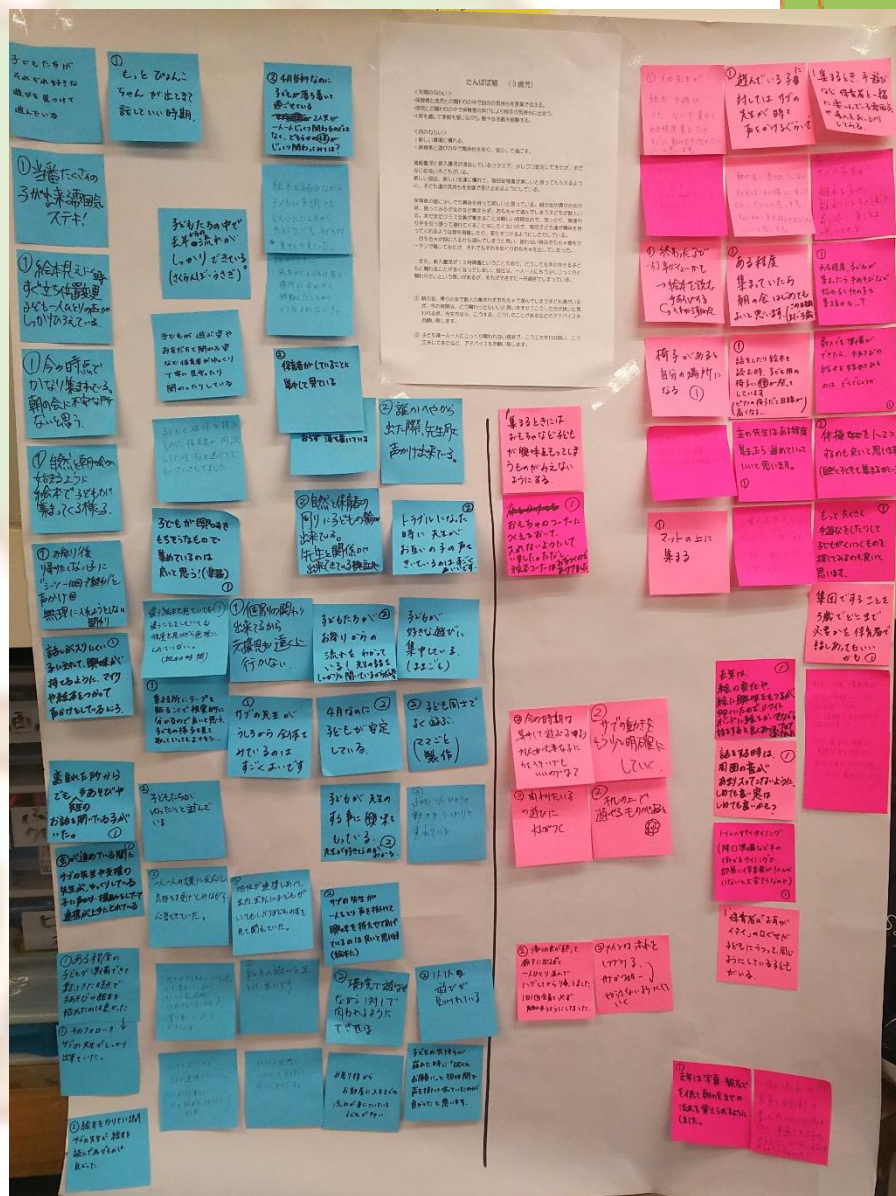
・カンファレンスのルール

- ① 主役は公開クラス
- ② 公開クラスは質問可 ⇒参加者質問は、終わってからで、お願いします
- ③ 参加者の回答は端的に
- ④ 参加者 ⇒わからない・パスOK
- ⑤ 合意は不要(idea集めが目的)⇒実行決定者は担任

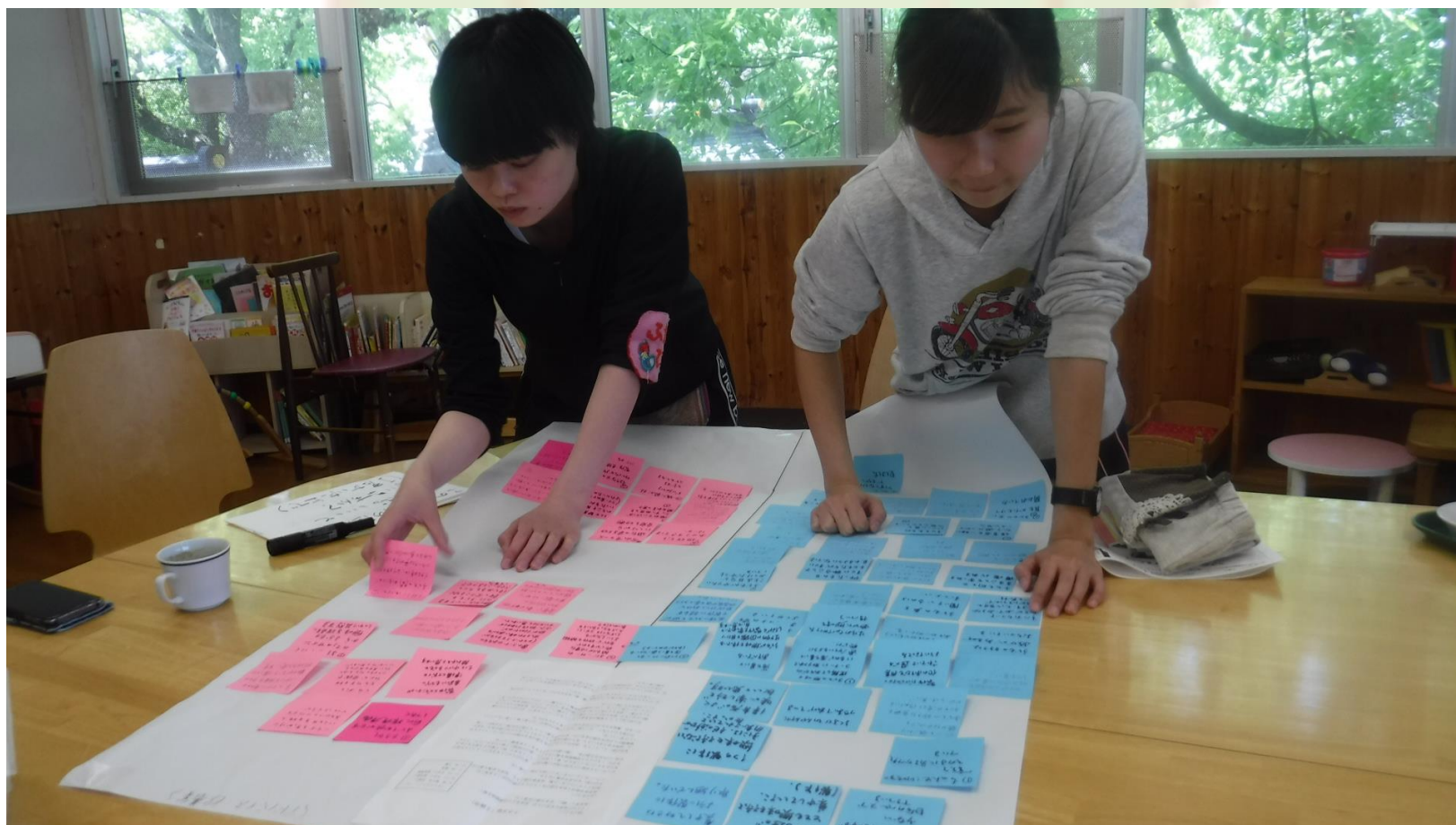


STEP 4 公開保育



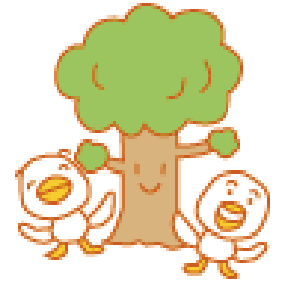


STEP 4 カンファレンス前 コーディネーターの打ち合わせ



STEP 4

カンファレンス



STEP 4

カンファレンス



主とサツの動き方
具体的に教えて

→ 福原Tにどこまで任せれば...だろうか... → 重荷にならない? と思っていたが、ちがうみたい。
前の先生には、聞いていたり大変しい。(藤田)
→ 給食中のサツの動きが聞きた。(福原T)

永矢T: 「集まるよ、っていいよ
一人ひとりに気づいてる?
サツがメインでセリフをくり返す。
スピーカーになるか? になる。
待たせてあげていた?

①Xイン 動きながら

大人

- ①しゃべりながら自然に集まるようにしている。(中村)
- ②主は子ども、サツが間サツサツが雑務をこなす。
ふか兄は黄髪いの、待てる子と知恵をひいている。
- ③ホワイトボードに絵を描いて、期呼が持てるよう。
参加型の絵を描き居る。(中西T)
- ④出来るだけ、クラス内には、活動の中心にいる。(森山T)
- ⑤出来るだけ、クラス内には、活動の中心にいる。(森山T)
- よく体操をした。色んな知恵をひいた。
→ クイズ、食べ物のなぞ
伝承遊びは、あつりまへん → 遊びながら説明
あぶくたつた

⑤Xインがクラスの目印になる。(新名)

⑥ある程度中に入ると始めもいいと思う。
子どもによって、少く後回しにする事も必要。(江T)

②サツ 大人

- ①「集まろう」といふような声かけ、ゴソゴソ話(中村)
- ②「アリンセ」「ねこちゃん」など先生も一緒に集まる(中西T)
- ③出来るだけ、はみ出る子を見る。外に出る人
競争い「おーい、おーい」などおどくやみれた。(森山T)
- ④なるべく静かにXインを立てる。期待がもてるようにする。
外に出た...等ある時は、声かけを切り替える(新名)
- ⑤主の先生とどれくらい声を掛けたらよいかを
相談する。(岩)

感想

- ・Xインとサツをもっとしっかり決めて、信じ?
- ・任せられる部分をききあわせていく。(藤田)
- ・スピーカーになつた?
- ・景とのメリハリを付けていきたいと感じた。(福原)

⑧時間と写真とで見通しをつくるようにしていく。
毎日のルーティンを作っていく。(有木)

⑦子どもが好きなストーリーを取り入れる。(岩)
→ 中に入れない子どもの

良さと課題：トッブリーダー



【良さ】

- STEP毎の対話を通して、現場の良さと課題共有できる。
- 一つのクラスをじっくり見ることで、子どもの姿や職員の姿を確認できる。
- 複数回繰り返すことで、共通する課題を発見できる。
⇒例:主とサブの動きの迷いが多い⇒動きの共有化
- 見ている職員の考え方を理解できる。
⇒ヒト・モノ・コトの興味
⇒共感的・課題発見型

良さと課題：トッブリーダー



【今後の課題】

- ・ この文化を、自分達でできるようにする。
ミドルリーダーのコーディネート・ファシリテーター力の向上
- ・ 多様な視点を提供する。
講師だけでなく、他園の参加や、ECERS等の評価指標を使うなど。
(⇒肯定感や抵抗感が高まった頃合いを見ながら)

良さと課題：ミドルリーダー



【良さ】

- 担任が今困っていることが具体的に知れ、共有できた。
- 他クラスの保育を見るきっかけになった。
- 自分より経験が高い⇒学びになる
- 自分より経験が低い⇒アドバイスのきっかけ
- 他者に認めてもらうきっかけ
- 他クラスの環境にも目を向けられる
- 他クラスを見ながら、他クラスの職員と話が出る。

良さと課題：ミドルリーダー



【課題】

- まだ馴染んでいないため、ネガティブ意見の扱いや、やっていない職員の不安がある
- 認めあえる雰囲気醸成、
- ECEQ®自体の周知

良さと課題：公開現場職員



【良さ】

- 自分自身無意識だった良さを気付けた。
- 自分の保育に自信が出てきた。
- 保育で困ったことのへの、次に生かせるアイデアをもらえた。
- どうしていいかわからないことも聞いた。
- 正直言って最初は見られるのがすごく嫌だったけど、いろんな意見をもらえて、結果良かった。
- 普段話し合わない内容を話せた。

良さと課題：公開現場職員



【課題】

- 沢山の職員が見に来るので、普段の様子と子どもが違った。
- もっと少ない人数で長い時間見た方が、子どもも自然体だと思う。
⇒配慮を伝える。
- 見てもらいたい部分が、見に来る先生が忙しくあまり見てもらえなかった。

良さと課題：参加職員



【良さ】

- 客観的に他クラス（自クラス）の子どもを見れた。
- 引いた目線で見えて、良さと課題に気づくことが出来た。
- 他クラスの様子や環境等を知れた。
- フォローに入った時に、課題の部分を集中的にフォローできる。
- 自分だったらどうするかと考えながら、日々の自分と比べれた。
- 公開クラスの良さと課題を考える中で、自分のクラスのことについても考える機会になった。
- 問いがあると、普段と違う視点で見ることが出来た。
- カンファレンスで、気付かなかった他クラスの良さと課題を知れた。
- 他の先生の意見も、今の自分に当てはめて考えることが出来た。
- 質問に対して、これまでの経験を互いにいうことが出来た。
- 過去の実践例を共有できた。

良さと課題：参加職員

【課題】

- 特に出ていません



良さと課題：コーディネーター



【良さ】

- コーディネーターの経験を自園に返せる。
- S T E P 2 ・ 3 ・ 4 の進める経験を積める
- 特に問いづくりを通して、対話を深められる。
- ファシリテーターとしての経験

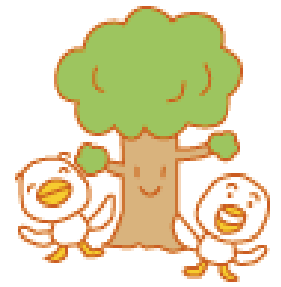


良さと課題：コーディネーター



【課題】

- 他園でする時と違い、職員のパーソナリティーや子どもの姿などの理解度が高い自園で実施する際
の中立性
⇒今までの関係性も引きずる
- やっぱり時間的にかかる
- 公開保育を見合う時間のマネジメント



**ご清聴
ありがとうございました**





(講師から見た) ECEQの仕組みを活用した 園内研修の試み

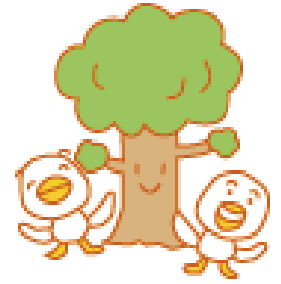


畿央大学

現代教育学科

准教授 永渕泰一郎

期待するねらい



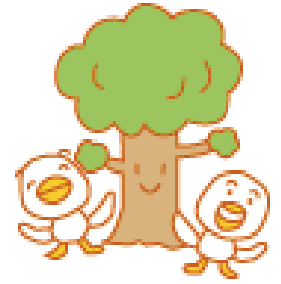
【公開クラス】

聞きたいことが、現場を見て答えてもらえる。



聞きたいことが仲間から見てもらうことで悩みがわかってもらえる。

期待するねらい



【見る側】

他クラスの良さと課題を知る

コメント力がつく

自身の振り返りになる



ドキュメンテーションからの理解に類似。

仲間の個性を理解し自分に還元できる。

⇒状況を共有し一緒に対応を考えあえる。

同僚性の向上につながる対話へ



○認め合う対話「ここがいいね」

公開した保育者それぞれが喜びを感じていた。
自分の良さを違う目から発見してもらえる。

— 同僚性の向上

○課題を出せる対話「ここが分からない」

本当に聞きたかったことが聞けている。

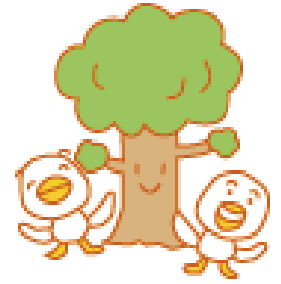
* 同じ年次の意見や、気になっていた保育者に向けては
やや厳しめの意見も出ることがある。⇒ポジティブさが大切。

これまでの園内研修・公開保育 との比較



- これまでの庄内こども園とのかかわり。
- 私立幼稚園公開保育の様子。
- ECEQまでの仲間研の公開保育の様子。
- ECEQとかがわってきて。
- 公立幼稚園との比較

E C E Qを参考にした良さ



S T E P 2⇒公開園内研の事前説明

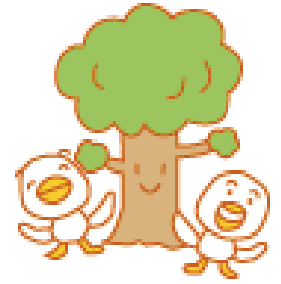
事前研修（自分達の振り返り）

S T E P 3⇒問いづくり

S T E P 4⇒公開保育&カンファレンス

カンファレンス前コーディネーター
との打ち合わせ

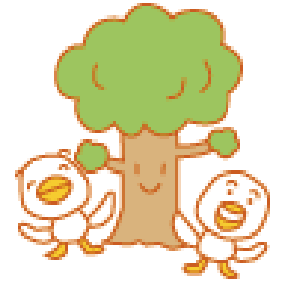
課題について



- 以外に感じたことを伝える時間がない。
ect どろんこのパンツ
- その瞬間にアドバイスがしづらい。

せっかく園で行うので、柔軟さが必要。





**ご清聴
ありがとうございました**

